

若手の海外研究滞在

海外での現地調査・研究、留学を検討中の皆様へ
10月に引き続き、海外研究滞在報告会を開催。
今回は米国で研究を行った本学若手研究者が準備から帰国までの
あれこれを報告します。奮ってご参加ください。

◆2:40pmより平成24年度募集説明会も開催しています。

2011年11月18日(金) 3:10pm~4:10pm
@国立東キャンパス 国際研究館1階【教官会議室】

3:10pm 海外研究滞在報告

〔カリフォルニア大学サンディエゴ校〕

惠羅 さとみ氏

社会学研究科・日本学術振興会特別研究員(PD)。

専門は、国際社会学・労働社会学。研究関心は、産業再編成と移民労働者、トランスナショナリズム論、新たな労働運動等。労働市場の流動化やそれに伴う周辺化プロセスを分析するため、日本では建設分野における個人請負事業主の拡大に焦点を当て重層下請制の変容を研究してきた。国際比較の観点と再組織化への関心から、現在はアメリカLAをフィールドとして、「社会運動ユニオニズム」と称される新たな労働運動と移民の組織化に注目し、労働組合運動とコミュニティを基盤とした移民運動・社会運動の双方向的変容に関する調査を行っている。



3:40pm 質疑応答

4:10pm 閉会

※閉会后、情報交換と交流の場を30分程
設けております。是非どうぞ。

申込み
問合せ

int-wp.g@dm.hit-u.ac.jp

※事前申込みにご協力ください。
(当日申込み可)

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム担当
☎042-580-8765 / 8763

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム

若手研究者の海外研究を支援することにより、研究能力の向上や
研究経験の蓄積を促進し、国際水準の研究者育成を加速する。

VISIT OUR WEB SITE

www.hit-u.ac.jp/gih/ja/researchers/news.html